



平成29年度秋号 (NO. 29)
発行：竜丘地域自治会
編集：地域振興委員会
問合せ先：(0265) 26-9303

河川敷の活用を探る ～地域振興委員会視察研修～

9月20日（水）に地域振興委員会研修旅行があり、岡崎市の乙川リバーフロント地区を見学してきました。

岡崎市の中心市街地を流れる乙川の河川敷を利用して、地域の人たちの憩いの場や遊びの場として取り戻す事業を、平成27年から五ヵ年計画で取り組んでいます。

特に注目したのは、この事業が実行委員会方式により19団体26プログラムが生まれ、個人、団体、事業者等の民間主導で企画運営されていることです。市民参加型の事業の参考事例の一つと感じました。

青年会議所や大学などとの連携による乙川観光船やオープンカフェ、カーニ、竹水鉄砲合戦など多彩なイベントが展開されています。

「岡崎泰平の祈り」は、泰平を築いた家康公が誕生した12月26日に開催され、球状LEDを3万個を流すイベントです。映像を見せて頂き、その光景は天の川のように幻想的でした。流したLEDは下流で回収されていて、当地区の灯ろう流しと重なり、先進的な官民連携の持続可能なまちづくりとして、参考になる視察研修でした。

(地域振興委員会 委員長 伊原 聡)



乙川観光船



岡崎泰平の祈り

不法投棄されない鷺流峡を目指して ～ガードレールの清掃・洗浄作業～



県道米川飯田線の長野原-時又間のガードレールの清掃と洗浄作業を行いました。9月9日（土）早朝より竜丘地域自治会、長野原区、時又区、鷺流峡復活プロジェクト、天竜舟下り(株)の皆さん、総勢73名の方が参加されました。

各自のバケツに水をくみ、金たわしやデッキブラシでガードレールをこすって汚れを落とし、その後高圧洗浄機で水をかけて洗い流しました。作業は2年ぶりでしたが、見違えるほどきれいになり、達成感を感じました。

竹や樹木が茂り、不法投棄のごみでいっぱいだった鷺流峡が、各種団体やボランティアの皆様の活動によりスッキリと綺麗になり、不法投棄をされにくい環境になりました。これからも活動を続け、この環境を永く守っていきたいと思っています。

(環境委員会 委員長 笹岡 健次)

連載シリーズ ～ 紹介します ～ 「高望庵」

上川路から中村に抜ける道（普段は農作業の目的以外には殆ど通らない）をちょっと横道に入ると、上川路、時又、奥に龍江を見下ろす空間が広がる。一度その光景を見ると「おー」というフレーズが自ずと出るであろう。そこに「高望庵」と呼ばれるあずま屋が存在する。

ここはかつて松食虫の被害により立派な松が倒れてしまい、そこに偶然出来た絶景を壮年会の方々が、皆で知恵と汗を出し合い、経験と技術を活かして、あずま屋を完成させたのであります。何気ない先輩との会話の中で当時の苦労を教えてくださいました。



これを受け継いだ我々後輩は、毎年七月に全会員総出で掃除、草刈りが中心の整備作業を実施します。時には他の団体と共同作業もあります。これからも継続して行きます。皆さん、ぜひ絶景を見に来て下さい。

（上川路壮年会 江本 好美）

市政功労者表彰における感謝状

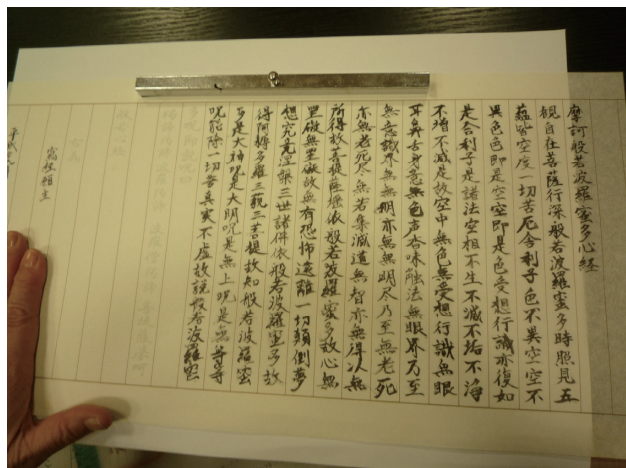
今年度の市政功労者表彰において、熊谷和美前自治会長（上川路）に感謝状が贈呈されました。2年間自治会長として地域や飯田市へ貢献された功績が認められての表彰です。

牧野市長から「自らの地域は自らでつくる自主自立、ムトスの精神が重要。今後も範として変わらぬ力添えを願う。」と期待の言葉がありました。「皆様に支えて頂き、2年間務めることができました。ご協力ありがとうございました。」と熊谷和美前会長よりメッセージがありました。

（竜丘地域自治会）



写経で婚活イベント



10月14日（土）婚活イベントが行われました。写経に興味を持たれた方が多く、男性は抽選での参加となりました。

お寺での写経体験は初めての参加者が多く、ご住職の法話にもじっくり耳を傾けていました。本堂の雰囲気にも緊張しながらも集中して取り組み、その後の食事会では賑やかに交流が行われ、今までにない盛り上がりとなりました。

来年度も計画しておりますので、興味のある方はぜひ竜丘地区結婚相談にご登録ください。お問い合わせは自治振興センターまでお願いします。

（竜丘地区 結婚相談員 下平 あや子）